

「学部横断型課題解決プロジェクト」最終報告会 12/7(土)開催 —学生と企業によるサステナビリティの探求—

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）は、2024年度秋学期授業「学部横断型課題解決プロジェクト」（通称:学部横断型ゼミナール・プロジェクト）の最終報告会を12月7日（土）に開催いたします。

課題は、「協力企業を取り巻く社会課題への提案」です。最終報告会では、協力企業が果たしている社会的な役割や貢献について、履修生同士の話し合いや企業とのやりとりの中で、社会課題（サステナビリティ課題）という観点からとらえて小冊子を作成し、企業の方や聴講者に提示します。またその社会課題に対して協力企業を通して私たちの未来をどう創っていくのか提案を考え、発表します。

今回は株式会社セブン&アイ・フードシステムズにご協力いただきました。本学会場およびオンライン配信のハイブリッド方式で開催し、高校生や一般の方にも公開します。ぜひご聴講ください。

「学部横断型課題解決プロジェクト」最終報告会

概要

日時：2024年12月7日（土） 9時30分～11時45分

※事前予約不要・入退場自由

会場：1101教室(1号館1階)

担当教員：永田浩三 社会学部教授、笠原一絵 経済学部助教

タイムスケジュール

9時30分～9時35分 開会・来賓のご紹介

9時35分～9時50分 担当教員によるプロジェクトの概要説明

9時50分～9時55分 学内関係者挨拶

10時00分～10時45分 Bチーム発表

10時45分～10時55分 休憩

10時55分～11時40分 Aチーム発表

11時40分～11時45分 全体の講評

*各チームの発表時間は30分、質疑応答・学生からのコメントが15分となります。

*進行によっては、多少時間が前後する場合がございますので、ご了承ください。

■オンライン(Zoom)による参加をご希望の方はこちら

https://www.musashi.ac.jp/education/seminar/seminar_project/application.html

*オンライン視聴申込締切 12月6日(金) 16:00

*オンライン会場にてご出席の場合は、録画・画面保存はご遠慮ください。



2024年度春学期最終報告会の様子



2024年度春学期の履修生が作成した報告書

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報室 担当：増田・五月女（ますだ・そとめ）

TEL：03-5984-3813

E-mail：pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

